

まるいん通信



発行 | 公益財団法人 屋久島環境文化財団 〒891-4205 屋久島町宮之浦823-1 TEL 0997-42-2911

令和7年度 ふるさとセミナー 第1回 幼児環境教育推進事業



た び
焚き火で

ほくほく

いも
お芋の会



町内にお住まいの幼児とその保護者を対象に親子で自然と触れ合えるイベントを開催します！

令和7年10月5日(日) 9:30~13:15



会 場：屋久島環境文化研修センター（安房）

お申し込みはこちら



参加費：大人も子どもも ひとり500円

9月21日(日)12時まで



対 象：町内の2歳以上の未就学児とその保護者



定 員：10組（30名程度）※応募者が多い場合は抽選とさせていただきます。

テーマ ～「やってみよう！」で挑戦し、「できた！」を増やす～

研修センター周辺の「7000年の森」を親子でおさんぽ。いろんな葉っぱや草花を観察しながら、焚き火にぴったりな枝をみんなで拾い集めます。火のあたたかさに触れ、大自然の中で食べるおやつ、焼き芋は格別のおいしさです。ぜひ親子で一緒に秋の味覚を楽しみましょう！



△これまでの開催の様子（令和5年度・6年度 森のおさんぽ会）

当日のスケジュール（予定）

- 9:30 受付開始
- 10:00 はじまりの会
- 10:30 森さんぽ（焚き木集め）
- 11:00 焚き火準備
- 11:30 焼き芋開始
- 12:00 おひるごはん（弁当持参）
- 12:40 片付け
- 13:00 おわりの会
- 13:15 解散



屋久島子どもエコ隊 第2回 開催決定！

毎回大好評の屋久島子どもエコ隊、今年度第2回の参加者の募集が **9月17日** から始まります！

今回のテーマは・・・屋久島の自然を **たべる・つなぐ** 編

屋久島ならではの食材ってなんだろう？人と自然との関わりが深い屋久島で、

「食」はこれまでどのようにしてつながってきたのか、さらに次の世代につなげるにはどうしたらいいのか。

屋久島の自然の恵みを活かした暮らしについて、みんなでチャレンジしながら楽しく学べる2日間です。

実施日：令和7年11月2日（日）～3日（月・祝） 1泊2日

参加費：5,000円（宿泊費・食事代・保険料などを含む）

対 象：島内の小学3年生～6年生

定 員：20名 ※応募が多い場合は抽選で決定します。

締 切：10月19日（日）17時まで

詳しい内容や申し込み方法はホームページでご確認ください。

●2日間の活動内容（予定）

<1日目>

屋久島の自然を「たべる」日

西部地域散策・ヤクシカキーマカレー作り

<2日目>

屋久島の自然を「つなぐ」日

海の生き物観察・海産物加工体験 など



——屋久島環境文化村構想コラム——

屋久島ならではの暮らしのかたち①

『**山に十日、海に十日、野に十日**』^{そこ}というのは、島の豊かな恵みを活かし、自然を損なうことなく生活をしてきた屋久島の人たちの暮らしを表した言葉です。

～山に十日～

屋久島の山では古くより屋久杉のように質のいい木材を切り出すことができます。しかし、屋久杉をどんどん切ってしまうとこの豊かな森は残りません。昔の人たちはこの自然を守るために、必要な分だけ木を切り出し、木を切る前には山の神様に許してもらう^{おのた}「斧立て」という神事を行っていました。切った後には必ず新しい苗を植えて「お礼返し」をしてきました。山の恵みに感謝し、共に生き、恵みを循環させる。昔の人たちが大切にしてきた想いを私たちも繋いでいくことが大切です。



まるりんクイズ

7月号のまるりんクイズの答えは「②約100m」でした！

屋久島では、樹齢1000年以上のスギを「屋久杉」1000年未満のスギを「小杉」と呼びます。標高1000メートル前後の森で育つ屋久杉は、年輪が細かく、樹脂を多く含みます。そのため台風や地すべりなどで倒れても、すぐには腐らずコケなどに覆われて森の中に残っています。

<問題>

腐らずに森に残る屋久杉の倒木や切り株のことを屋久島では何と呼ぶでしょう？

- ① 化石木^{かせきぼく} ② 土埋木^{どまいぼく} ③ ミイラ木^{ぼく}

正解はまるりん通信『11月号』で発表！

または屋久島環境文化村センター展示ホールへ！



財団の情報をいち早くお届けします。
フォローはこちらから→

屋久島環境文化財団 で検索



文化村センター・研修センター | 9月・10月の休館日

9月16日（火）・22日（月）・29日（月）

10月6日（月）・14日（火）・20日（月）・27日（月）